

FUKUOKA UNIVERSITY FACULTY GUIDEBOOK

工学部

Faculty of Engineering

- 機械工学科
- 電気工学科
- 電子情報工学科
- 化学システム工学科
- 社会デザイン工学科
- 建築学科



FUKUOKA UNIVERSITY

福岡大学
学部ガイド2027



工学部
ウェブサイト



キャンパス
マップ

入学センター

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL: 092-871-6631 (代)

Creative

『好き』を『仕事』にするための、最強の4年間。

福岡大学工学部は、「工学・技術に求められる豊かな創造性と実務に即した応用力を育成するために、十分な基礎学力に加えて深い専門の科学技術と、幅広い教養を修得させて調和のとれた人格の発達を促すこと」を教育の目的としています。

福岡大学工学部は「**教育重視**」



▶ わかりやすい授業

授業は通常の講義に加え、演習やeラーニング、アクティブラーニング、PBL(課題解決型学習)なども取り入れ、スムーズな理解を促進しています。また全科目にICTを活用しているのも特徴の一つです(FUプラスアップ授業)。

▶ 充実した教育スタッフによる目の行き届いた教育

工学部では、教員(教授、准教授、講師、助教、助手)1人当たりの学生数が全学年で20.1人、1学年当たりで約5人となっており、私立大学としては教育スタッフが非常に充実しています。さらに、大学院生のティーチングアシスタントを授業の補助として配置するなど、特に実験や実習、演習科目では目の行き届いた教育を行っています。



▶ 授業時間外に個別質問ができる時間を設定

時には授業の内容を十分に理解できないことがあるかもしれませんが、そこで、授業時間以外にも個別に質問できる時間を設けています(オフィスアワー)。

▶ 工学部学習支援室T-Square

さらに、学習支援室T-Squareでは専門スタッフによる懇切丁寧な個別学習サポートを行っており、学生の皆さんは安心して勉学に励むことができる環境が整っています。

▶ 学年持ち上がりでサポートする副担任

工学部では、学科や学年全体のとりまとめを担当する担任教員に加え、学年持ち上がりで学生生活をサポートする副担任が学生ごとに付きます。これにより、学生の皆さん一人一人の状況に目が行き届くとともに、何でも個別に相談できる体制も整っています。

▶ スムーズな学生生活のスタートをサポート

新入生に対しては、入学後に副担任が個人面談を行いながら、スムーズな大学生活のスタートが切れるようしっかりとサポートしていきます。

▶ 年2回の定期個人面談

その後も副担任による年2回の定期個人面談を実施し、学修状況の確認や指導などを丁寧に行っており、安心して学生生活を送ることができます。

▶ 充実した就職支援とその実績

工学部では、キャリアセンターによる充実した就職支援に加え、企業との深いつながりを生かした教授陣による推薦、履歴書・エントリーシートの添削、面接指導など、学部を挙げてきめ細かな就職支援を展開しています。さらに、学部独自のインターンシップや企業説明会も充実。こうした取り組みにより、高い就職率と地方国立大学に劣らない有名企業への就職実績を誇っています。

▶ LINE公式アカウントを通じた保護者との連携

工学部では、保護者向けLINE公式アカウントで学年暦などの情報を配信し、大学と保護者の皆さまが連携しながら、学生一人一人の成長を支えています。

学部長メッセージ

手厚い学生サポートにより実践的な 応用力を備えた未来の技術者を育成



工学部長 辰巳 浩 TATSUMI Hiroshi

本学部の教育は、工学系の専門技術者として必要となる基礎理論をしっかりと身に付け、その上で応用的かつ先進的な科学技術と幅広い教養を修得することを目指します。そこで、私立大学ならではの懇切丁寧な教育を提供するとともに、学生一人一人に目の行き届いた手厚いサポートを行うことで、学生の力を大きく伸ばして社会に送り出していきます。

また、本学部の特徴の一つである「ものづくりセンター」では、総合大学ならではの幅広い交流機会を生かし、文系学部など異なる専門分野の学生と共にクリエイティブな創作活動を行うことで、多角的な視点や豊かな創造的思考力を育てています。さらに、本学部では海外協定校との

学生の相互派遣など、国際感覚を養う機会も設けています。

現代社会は急速に変化しています。国連では「SDGs」と呼ばれる持続可能な開発のための目標が掲げられ、また、わが国では仮想空間と現実空間を高度に融合させた社会である「Society 5.0」を目指すべき未来社会の姿としていきます。それらを実現するためには、IoT、ビッグデータ、AI、ロボット技術などのテクノロジーの進展も重要です。

本学部で学ぶことは、そうした未来社会のニーズや要請に応えることであり、とてもやりがいのあることです。私たちは学生の皆さんを全力でサポートします。ぜひ私たちと共に学び、優秀な技術者として社会に大きく羽ばたきましょう。



目次

学部長メッセージ	01
機械工学科	02
電気工学科	06
電子情報工学科	10
化学システム工学科	14
社会デザイン工学科	18
建築学科	22
工学部トピックス	26
福岡大学で学ぶことの魅力	28
工学部Q&A	29

三つのポリシー

- アドミッション・ポリシー (AP) 〈入学者受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー (CP) 〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー (DP) 〈学位授与の方針〉



機械工学科

Department of Mechanical Engineering



基盤技術から各分野の専門的な学習まで、実践力あるリーダーエンジニアを目指して。

機械工学科では、あらゆる工業生産やものづくり技術の基盤となる知識の習得と人づくりを主な目標としています。

今後さらなる発展が望まれるエネルギーや環境、航空宇宙やロボット等の産業分野への応用を視野に入れながら、機械力学や材料力学、熱工学や流体工学、加工や制御理論などの基礎から応用と実践までを学びます。

また、それらの過程から実践的な情報処理能力や問題解決能力などを身に付け、行動力のあるエンジニアへと育成します。

機械工学科で学べること

1年次

まずは専門科目の基礎固め

機械工学は、物理学を基礎とした学問です。物理学は数学という言葉で記述されます。1年次には、数学や物理などの基礎科目に加え、教養科目や語学などを幅広く学びます。カリキュラムには1年次から基礎的な専門科目もバランス良く組み込まれています。また、「高校の数学・物理」と「専門科目」の橋渡しを目的とした科目もあります。これらの科目によって、機械工学をとりまく具体的な問題への興味と問題意識を持ちながら確実に基礎を固めていくことができます。

2 / 3 年次

専門的な知識をしっかりと身に付ける

機械工学の主要な5分野 - 材料力学、流体工学、熱工学、機械設計・工作、機械力学・制御 - の専門科目が、学年が進むにつれて、基礎から応用へと有機的・体系的に配置されています。これらの専門科目を履修することで、機械工学の基礎理論を修得し、基本的な課題を解決する能力、ものづくりに関する基礎知識を身に付けます。各分野の実験・実習科目を小人数に分かれて履修し、きめ細かな指導を受けながら、機械工学の知識を活用することで、機械工学技術者に必要な実践的な応用力を確実に身に付けます。さらに、機械製図法や機械工学設計演習などの設計製図科目を履修することで、機械工学技術者として必要なものづくりに関する設計力と応用力を養います。また、CAD・CAEやプログラミングを含むコンピュータ利用技術を修得し、AI技術が切り開く機械工学の新たな可能性についても学びます。

4年次

知識を生かす学修 = 卒業研究

西日本屈指の実験・実習設備が整った環境の中で、個別のテーマで1年間じっくりと卒業研究を行います。研究を通じて、実際の問題に挑戦しながら、理論と実践を結びつける力を養うことができます。この過程で得られる知識やスキルは、将来の技術革新に貢献できる重要な経験となります。未知の問題を解決し、論文にまとめ、発表するというプロセスを通じて、技術者・研究者としての総合力が鍛えられます。

専門教育科目カリキュラム (2026年度入学生適用) ●必修科目 ○選択必修科目 ▲選択科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目	●微分積分I, II ●線形代数I, II ▲力学B ▲物理学A	●力学A ●化学A ▲化学B ▲化学I	●物理学C ●物理学実験 ▲統計 ▲微分積分III, IV	▲数学統計I, II ▲基礎防災学 ▲物理学D
	●工業力学I ●技術者リテラシーI	●材料力学I ●流体工学I, II ●工業熱力学I, II ●機械加工法 ●機械制御工学I ●機械製図法	●材料試験 ●機械要素設計I ●機械力学・制御実験	●流体工学実験 ●熱工学実験 ●卒業論文
専門教育科目	▲機械工作法 ▲機構学 ▲情報処理入門	▲機械制御工学II ○機械工学設計演習A ▲計測工学 ▲材料力学II ▲技術者リテラシーII	▲固体力学 ▲ターボ機械 ▲工作機械 ▲流体工学I, II ▲伝熱工学II ▲ヒートポンプ・空調工学 ▲機械要素設計II ▲機械制御工学III ▲ロボット工学 ○機械工学設計演習B, C, D, E ▲工業経営	▲数値解析 ▲熱エネルギー変換工学 ▲トライボロジー ▲機械材料学 ▲複合材料学 ▲機械情報処理 ▲電気工学通論 ▲電子工学通論 ▲化学工学通論 ▲技術者リテラシーIII ▲流体機械 ▲総合工業論

科目の詳細 >
シラバスWeb版 >



求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学び、十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
- C 態度・志向性** (C-1)機械工学に関する高度な専門知識と倫理観を身に付けた機械技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
(C-2)世の中になくものを作り出すことに興味がある人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



在学生の声



3年次生 坂本 洸太 さん
(熊本県 第二高校出身)

実験を通してものづくりの面白さを実感。演習では忍耐強く考える力が鍛えられた。

Q1 この学科の魅力は？

少人数制の授業のため、先生や学生同士の距離が近く、質問しやすい環境です。充実した実験設備を使い、座学で得た知識を確かめることができるので理解がより深まりました。物理や数学の学びが、自動車や航空機などに関わる機械工学の技術につながっていることが分かり、理論が実際のものづくりに結び付く面白さを実感しました。

Q2 好きな授業は？

「機械工学設計演習」です。授業では冷凍機の性能や強度を計算し、自分の力で図面を描き上げます。機械の構造や動き、エネルギー効率に関わる項目など計算量が多く苦労しますが、何十時間も費やして試行錯誤の末に完成した時は達成感が大きく、喜びが込み上がりました。演習を通して、諦めず問題に向き合う集中力や考え抜く力が磨かれました。

私の時間割(3年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00			機械工学設計演習C		機械要素設計I
10:40	機械情報処理	伝熱工学I		流体機械	インテリジェントインテグレーションIII
13:00	流体力学I		ロボット工学	機械制御工学III	
14:40		材料試験			機械力学・制御実験
16:20					

教員紹介 森山 茂章 学科主任

機械工学科には、材料力学、流体工学、熱工学、機械設計・工作、機械力学・制御の5つの研究室があり、いずれものづくりを支える重要な分野です。学科の理念は、幅広い教養と高度な専門知識を備え、ものづくりを通して実践的な応用力と豊かな創造力を発揮して、人類の幸福と社会の福祉に貢献できる技術者を養成することです。経験豊富なスタッフが皆さんを全力でサポートします。ともに学び、充実した学生生活を送りましょう。

教員・研究内容の詳細は >



卒業生の声

産業用ロボットの設計開発に携わる夢を実現。
将来の可能性を広げる、実践的な学びがある。

幼い頃からロボットへの憧れが強く、プラモデル作りを通じて関節駆動のメカニズムに興味を持ち、ロボット工学を学びたいと考えていました。本学科では、モノづくりに必要な機械工学の基礎から応用までを体系的に学べるだけでなく、ロボットアームの研究などを通して構造・制御など、さまざまな分野の実践的な学びの場が整っていると感じます。機械工学は、ロボットだけでなく、自動車や航空機など多くの分野のモノづくりに関係しており、将来の可能性を広げてくれる貴重な学びでした。

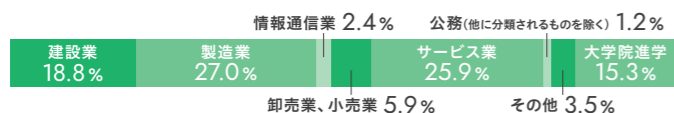
ロボットの動作に関する研究を行う中で、産業用ロボットの設計開発に携わりたいという思いが高まり、現在はCADや解析ツールを活用して構造設計・検討、試作や評価などを行っています。自分が手掛けたロボットが製品化され、世の中で活躍する姿を見ると、大きな達成感と同時に学科での学びが大いに生きていると実感します。



満田 雄大 さん (2017年卒業)
三菱電機エンジニアリング株式会社
工学研究科 機械工学専攻 博士課程前期 (2019年修了)

主な就職先・進路

2025年度卒業生実績(業種別)



[就職先の例 2023年度~2025年度]

- 五洋建設(株)
- SMC(株)
- ミネベアミツミ(株)
- (株)安川電機
- 日油(株)
- スズキ(株)
- トヨタ自動車(株)
- マツダ(株)
- 三菱自動車工業(株)
- 本田技研工業(株)
- セイコーエプソン(株)
- 京セラ(株)
- 大同特殊鋼(株)
- 三菱電機(株)
- (株)三井ハイテック
- TOTO(株)
- 九州電力(株)
- 東京エレクトロン(株)
- パナソニックホールディングス(株)
- 福岡市役所

取得可能な主な資格

- 在学時から受験できる資格
修習技術者(技術士の一次試験)、FE(米国の「PE」プロフェッショナル・エンジニア資格の一次試験)
- 教職課程の所定の単位修得により取得できる資格
高等学校教諭一種免許状(工業)
- 卒業後受験資格が得られる資格
自動車整備士(3級)、消防設備士(甲種)、ガス溶接作業主任者
- 卒業後の実務を経て取得できる資格
警備管理者
- 卒業後の実務を経て受験資格が得られる資格
技術士、一級・二級建設機械施工技師、ボイラー技士(特級)、労働安全(衛生)コンサルタント、管工事施工管理技士、造園施工管理技士、衛生管理者
- それ以外の注目資格
危険物取扱者(乙種)、技能士、エックス線作業主任者、浄化槽技術管理者、冷凍保安責任者、公害防止管理者、弁理士

TOPICS 就職に強い理由

機械工学科の学生は
どんな業界・企業からも
求められています!

機械工学は経済産業省の調査で今後技術者が最も不足すると予想されている分野であり、企業ニーズが著しく高まっています。機械技術者は就業人口の約0.5%しかおらず、機械工学科を卒業すれば貴重な人材になります。幅広い専門性を身に付けられるため、製造業のみならず、建設業、電気・IT業、公務員などさまざまな分野で活躍できます。機械工学科では学生一人一人の夢や個性を大切に、推薦を含む多くの求人情報の中からその人にあった企業等を紹介しています。また、履歴書添削や面接練習など懇切丁寧な就活指導を行い、夢の実現をサポートしています。

機械工学科では何を研究しているの?

ものづくりに関わる研究を幅広く行っています。

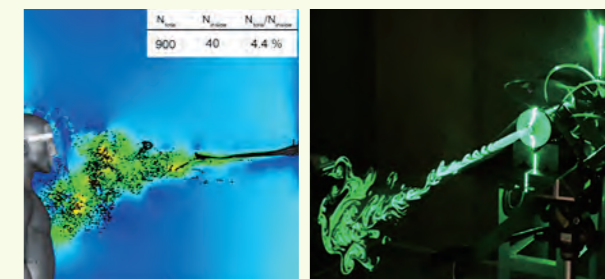
材料力学 Lab.

航空機の墜落やロケット打ち上げ失敗などの大事故も、元をたどればたった一つの部品が壊れることが原因です。ここでは、機械部品に使われる材料の破壊現象を細かく調べ、破壊を予防する方法を研究しています。



流体工学 Lab.

周囲を見回すとさまざまな流れを目にします。もちろん、機械の中にも流体が流れています。風車は風からエネルギーを取り出し、扇風機は風を作り出します。このとき「流れ」は重要な役割を果たします。ここでは、小型風車の流れや渦を伴う複雑な流れを研究しています。



熱工学 Lab.

発電所や自動車など私たちの生活を支えるシステムや機械は、熱エネルギーを使って動いています。ここでは、エネルギーの有効利用を目指して、エアコンや給湯機のようなヒートポンプ内の熱移動やエンジン内の燃焼過程を研究しています。



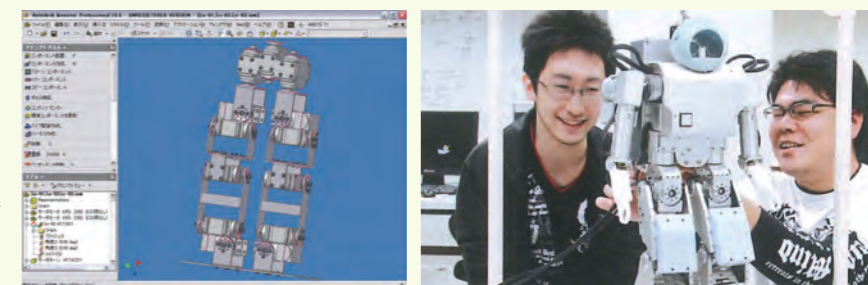
機械工作・設計 Lab.

機械工学では「ものづくり」が基本となります。いかにもを設計し、製造するかが問題となります。ここでは、加工しにくい材料を精密に効率よく加工するための研究や、機械工学を医療分野に応用した手術支援システムや人工関節の開発を行っています。



機械力学・制御 Lab.

機械の自動化、精度や性能の向上および知能化の技術について研究しています。具体的な研究テーマの例としては、ヒューマノイドロボットの運動生成、ロボットアームの省エネルギー化、パラレルロボットを用いた自動車乗心地評価システムの開発、柔軟マニピュレータの制御などがあります。



TOPICS 学科の取り組み

自分発見！
スタートセミナー

新入生を対象とした自己啓発セミナーを開催しています。丸1日のプログラムを通して「自己理解」、「相互理解」、「チームビルディング」などさまざまなセッションを通じて、新入生の「大学への適応」、「友人づくり」の支援を行っています。



電気工学科

Department of Electrical Engineering



SDGsに配慮した電気エネルギーの発生、輸送、利用をトータルで学び、現代社会を支え、新たな技術を創出するエンジニアへ。

電気:現代社会において必要不可欠。

電気工学は、電気エネルギーの発生・輸送ばかりでなく、情報・通信・計測から新素材の開発、エネルギーの効率的な制御まで多岐にわたり、社会基盤を支えています。それどころか、新技術の創製により社会を変革していく原動力となっています。本学科では、電気工学を基礎から段階的に取り組み、社会に不可欠なエンジニアへと育成します。

電気工学科で学べること

1 / 2 年次

電気の基礎を座学、演習と実験を通して広くしっかりと学ぶ



一般教養である人文科学、社会科学、語学とともに、高校の勉強を発展させた数学(微積分、行列、統計など)、物理、化学、図学など工学の基礎科目を学びます。また、電気工学の基礎となる専門導入科目として、電気入門、電気回路、コンピュータ基礎、電磁気学などを学んでいます。専門導入科目は十分な演習を行い、専門科目につないでいきます。座学だけの学習だけでなく、学生実験でさまざまな計測器を使いながらさまざまな電気の現象を体得していきます。

3 年次

専門分野を深く学ぶ

1・2年で学んだ知識をベースにして、電気工学の専門性の高い科目を幅広く学んでいきます。発電工学、高電圧工学、電力伝送工学、電子工学、パワーエレクトロニクス、制御工学、通信工学、プログラム技法、電気法規および施設管理などが挙げられ、就職に直結した科目になります。どの分野に興味を持つのか自分の進路を考えながら、授業を受けることになるでしょう。もちろん、学生実験も高度になり、高価な実験装置を用いた実験を行います。

4 年次

卒業研究を通して研究や開発の楽しさを知る

4年間の締めくくりとして、卒業論文研究を行います。10研究室のいずれかに配属され、担当教員の指導の下で研究を行い、卒業論文をまとめます。高電圧、プラズマ、レーザー、知能ロボット、新機能材料デバイス、電磁波、電動機、パワーエレクトロニクス、画像処理、新機能センサなど多岐の分野を用意しています。

専門教育科目カリキュラム (2026年度入学生適用) ●必修科目 ○選択必修科目 ▲選択科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目	●微積分I, II ●線形代数I, II ▲化学A, B ▲図学I	●力学A, B ●物理学実験	▲基礎防災学	
	●電気磁気学I, II ●電気回路I, II	●基礎電気工学 ●電気入門I, II	●電気材料I, II ●パワーエレクトロニクスI, II ●デジタル制御工学	●卒業論文
専門教育科目	▲コンピュータ基礎I, II	●電気磁気学III, IV ●電気回路III, IV ●電気計測I, II	●電気物性論I, II ●電気機器I, II ●電気基礎実験I, II	▲電力システム工学 ▲システム工学 ▲電気機器設計学 ▲電気設計製図 ○電気工学実験III ▲技術者倫理・安全管理
		▲情報処理I, II ▲電子回路I, II	▲高電圧工学 ▲照明電熱工学 ▲通信工学 ▲数値解析 ▲プログラム技法	▲電子工学I, II ▲電気法規及び施設管理 ▲応用電気化学大意 ○電気工学実験I, II ▲総合工業論

科目の詳細 >

シラバスWeb版 >



求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解 電気工学を学ぶに十分な基礎学力を高等学校において身に付けた人
- B 技能 言葉を正確に理解し、分かりやすく伝えることができる人
- C 態度・志向性 日々能力を高めていくための情熱と積極性を持つ人
- D その他の能力・資質 英語に関する資格を取得した人や競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



在学生の声



4年次生 矢野 太誠 さん
(福岡県 福翔高校出身)

生活を支える電気について徹底的に学習。実験での驚きや発見で理解がさらに深まっていく。

Q1 この学科の魅力は?

電子情報や機械など、電気に関わる工学を幅広く学べます。電気が作られ、送られ、使われるまでの仕組みを、座学と実験を通して深く理解します。特に回路製作の実験では、自分で回路を組みながら電流や電圧といった原理に触れ、学んだ知識が実際の現象と結び付き、生活に欠かせない電気の仕組みなど、学びが社会に直結する実感が持てました。

Q2 好きな授業は?

変圧器や回転機などを使う「電気工学実験」です。モーター制御などに使われている装置「VVVFインバータ」を使った電力の扱い方を確認する実験では、以前から興味があった電車が動く仕組みを目の当たりにし、驚きと感動を覚えました。自分たちで配線などを施すため失敗の連続でしたが、繰り返すことで準備が円滑になり、思考力や解決力も身に付きました。

私の時間割(3年次後期)

	月	火	水	木	金
9:00			デジタル制御工学	発電工学II	パワーエレクトロニクスII
10:40	電力伝送工学II		高電圧工学	制御工学II	インタラティブ・イノベーションIV
13:00	プログラム技法	電気材料II	電気工学実験II		
14:40					
16:20					

教員紹介

西田 貴司 学科主任

電気工学という言葉からは、古い技術分野、難しそう、厳しい、といったイメージを持つ人がいるかもしれません。しかし、現在の電気工学はそれとは正反対です。私たちの身の周りにあるスマートフォンやネットなどの電子機器、自動車や航空機などの機械にまで、その内部は最先端の電気工学が不可欠です。その一方で、CADソフト、プログラミング言語などのコンピュータの支援で、効率的に高度な知識の習得や活用ができるようになりました。電気工学の基礎から最先端までしっかり学べるカリキュラムを用意しています。

教員・研究内容の詳細は >



▶ 卒業生の声

エンジニアに必須のスキルが詰まった学科。
学びから未来が選択できた。

本学科では、発電や送電といった電気インフラ関連の専門知識が学べます。また、実験結果と理論が一致するかの検証など、座学と実験を組み合わせた学びを通じて、不可欠な論理的思考力や課題解決能力を身に付けることができました。私は、物理法則や実験内容を模式図やアニメーションで表現する卒業研究から、“自分の考えを視覚的に整理して正確に伝える重要性”を学んだことが、この仕事を選択するきっかけになりました。

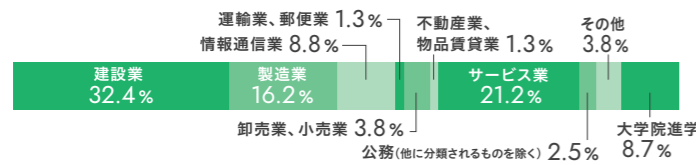
現在は金属板加工を主力とする企業で、CADといった製図ソフトを用いて図面を作成する仕事をしています。仕事では、正確性に加え、図面を見た技術者が容易に製品化できるよう、詳細まで正しく伝わる図面を描くことが求められます。相手の視点に立って情報を整理し、分かりやすく伝える技術は、学科での総合的な学びによって養われたと感じていて、現職での大きな強みになっています。



前田 義章 さん (2025年卒業)
富永スチール工業株式会社

▶ 主な就職先・進路

2025年度卒業生実績(業種別)



[就職先の例 2023年度～2025年度]

- 九州電力(株)
- 電源開発(株)(J-POWER)
- 西日本電信電話(株)(NTT西日本)
- (一財)九州電気保安協会
- (株)日立製作所
- (株)東芝
- (株)富士通ゼネラル
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- 三菱電機ビルソリューションズ(株)
- 三菱自動車工業(株)
- 日産自動車(株)
- (株)クラフティア(旧九電工)
- (株)きんでん
- 大成建設(株)
- ダイワハウス工業(株)
- TOTO(株)
- 西部ガス(株)
- 九州旅客鉄道(株)(JR九州)
- 西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
- 福岡県庁
- 福岡市役所
- など

▶ 取得可能な主な資格

電気系エンジニアには資格を要する業務が多く、本学科では次の資格取得につながる科目(単位)を提供しています。

■ 第一種・第二種・第三種電気主任技術者

電気工作物の工事、維持および運用に関する保安の監督者に必要な資格。
本学にて指定された科目を取得し卒業した場合、実務経験のみで免許を取得できます(筆記試験免除)。

■ 第一種・第二種電気工事士

電気工作物についての電気工事の作業に従事する者に必要な資格。
本学にて指定された科目を取得し卒業した場合、第二種電気工事士の筆記試験が免除されます。

■ 教職課程の所定の単位修得により取得できる資格

高等学校教諭一種免許(工業)

TOPICS

就職に強い理由

電気工学の専門知識を持った学生は、さまざまな分野でニーズがあり、就職に強い

現代社会において電気は必要不可欠であり、電気を安全かつ効率的に利用するためには電気工学の専門知識が欠かせません。そのため電気工学の専門知識を持った学生は電力会社や電機メーカーをはじめ、あらゆる製造業で高い需要があります。例えば、自動車には多くの電気部品が使用されており、電気自動車の普及も進んでいます。また、化学メーカーや食品メーカーにおいても製品を生産する工場は電気で動いています。建物には照明をはじめさまざまな電気設備があり、水道やガス、電車などのインフラにおいても電気は不可欠です。

このように電気系エンジニアの就職範囲は幅広く、大学で学びながら将来の進路を見つけることができます。本学科では、電気工学を基礎から段階的に学び、電気系エンジニアとしてのスキルを身に付けることができます。卒業生の多くが電力会社、メーカー、建設設備・施工管理会社などさまざまな分野で活躍しています。

電気工学科では何を研究しているの？

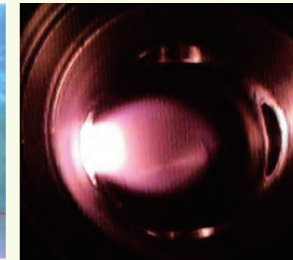
3つの分野で生活を支える研究をしています

エネルギー・環境・材料分野

このグループでは、環境に調和した高効率エネルギー社会を担う技術を研究しています。例えば、送電に用いる高電圧で発生する絶縁破壊のメカニズムや低環境負荷を実現する新材料の研究をはじめ、プラズマを使ったスマートプロセスの開発、エネルギーを効率よく利用してCO₂削減に寄与する研究が挙げられます。



風力発電機モデルへの落雷実験



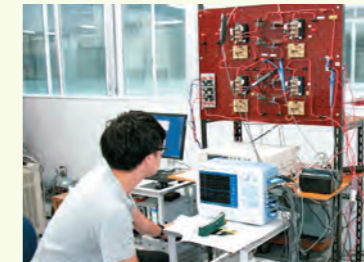
研究で用いるプラズマ



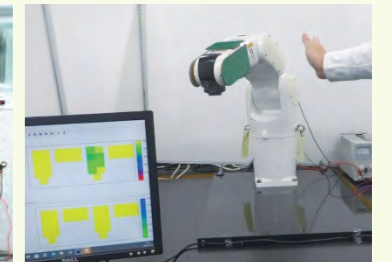
今後も利用が広がる太陽電池・半導体材料

計測・電力変換分野

このグループでは、電車やエレベータ、エアコンなどの機器をうまく動作させるために、電気エネルギーを効率よく変換・制御する研究を行っています。例えば、太陽光発電で発生する電力の品質向上、電気自動車などのモータ制御に欠かせない電力変換装置、ロボットの皮膚となる触覚センサや人と機械をつなぐヒューマンインターフェースの研究が挙げられます。



電力変換装置の研究風景



ロボットの触覚センサ

情報・通信・制御分野

このグループでは、電波の応用技術や自動制御技術、画像処理技術について研究しています。例えば、物体に散乱された電波を分析し、その物体内部の構造・材質を推定する技術、複数台の自律ロボットに協力して一つの作業を行わせる自動制御技術、監視カメラ映像の解析など画像を用いたセキュリティシステムに関する研究が挙げられます。



ロボット制御の研究風景



監視カメラの動体検知

TOPICS

学科の取り組み

理論から実習・実技まで幅広い教育

電気工学は放電・プラズマから電気物性、デバイス、回路設計、電動機(モータ)、自動制御、情報・通信まで幅の広い分野で、さらに今後も電気工学が担当する分野はますます広がっていきます。電気工学科ではあらゆる分野に対応できる人材育成を目指し、カリキュラムを意図しています。希望者には電気工事士の技能試験の指導も行っていきます。



電子情報工学科

Department of Electronics Engineering and Computer Science



学科
公式ウェブサイト



電子から情報までICT社会を支える技術者へ。

情報通信技術 (ICT) やコンピュータ工学、半導体技術や光技術など、急速な進化・発展を続ける高度情報通信産業の基盤を支える電子情報工学。

本学科ではこれらの分野の人材ニーズを踏まえ、「ハードウェア」領域の電子工学系または「ソフトウェア」領域の情報工学系、双方の理解を促す教育を展開。通信や放送、ロボット・AIなどの分野も視野に入れ、主たる分野を持ちつつ、電子から情報まで幅広い知識を備えたICT社会を支える技術者へと育成します。

電子情報工学科で学べること

1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目 人文科学、社会科学、英語 工学共通科目 数学、物理実験 専門科目基礎 電気回路、プログラミング 一般教養科目や、数学・物理など工学に必要な基礎科目を中心に学びます。また、専門科目の基礎として電気回路やプログラミングなどを学びます。	電子通信コース 通信工学、電子回路 情報コース プログラミング演習、計算機工学、情報理論 情報システムコース オートマトンと言語理論、情報数学、データ構造とアルゴリズム 全コース共通 電子情報工学実験、電子情報基礎演習 コースに分かれ、「電子通信コース」、「情報コース」、「情報システムコース」のいずれかに進みます。各コースでは、分野に依存した専門科目を学びます。なお、全コースに共通する科目も多数あります。	後期には研究室に配属され、いわゆる卒論を行います。これは4年次に行う卒業研究(卒論)の準備として、専門的な実験・演習を少人数で行うものです。	卒業研究 (卒業研究発表会) 配属された研究室で卒業研究を行います。研究テーマは研究室で異なります。最終的に研究結果を卒業論文としてまとめ、複数の教員が参加する「卒業研究発表会」で発表を行います。また就職が大学院へ進学するかを決定し、就職する場合は希望先の会社を選んで入社試験を受けます。

学科独自の学生認定制度である半導体工学教育プログラムとTSMC 留学プログラムが始動しました！

専門教育科目カリキュラム (2026年度入学生適用) ●必修科目 ○選択必修科目 ▲選択科目

1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目 ●微分積分I, II ●物理学実験 ●線形代数I, II ●図学I ●力学A, B	▲化学A, B ▲力学C ▲物理学A ▲統計 ▲化学実験	▲基礎防災学 ▲数理統計I, II	
全コース共通 ●電気回路I ●電気回路II ●プログラミングI ●プログラミングII ●情報通信機器概論 ●電子情報工学特論	電子通信コース ●論理回路 ●電子情報工学実験 ●電子情報基礎演習 ●データ構造とアルゴリズムI ●通信工学I ▲数値計算法 ○情報理論 ○電子物性 ▲電気回路III ▲関数論 ▲微分積分III ▲微分積分IV ▲アナログ回路 ○電磁気理論	情報コース ●情報理論 ●プログラミング演習I ●プログラミング演習II ○計算機工学II ●制御工学 ▲アナログ回路 ▲電気磁気学 ▲オートマトンと言語理論 ▲情報数学 ▲データ構造とアルゴリズムII ▲電子回路 ▲デジタル信号処理 ▲通信工学I ▲コンパイラ構成法	情報システムコース ●オートマトンと言語理論 ●情報数学 ●データ構造とアルゴリズムII ●情報理論 ●プログラミング演習I ●プログラミング演習II ●制御工学 ▲アナログ回路 ▲電気磁気学 ▲データ構造とアルゴリズムII ▲デジタル信号処理 ▲通信工学I ▲コンパイラ構成法 ▲計算機工学II
	情報システムコース ●オートマトンと言語理論 ●情報数学 ●データ構造とアルゴリズムII ●情報理論 ●プログラミング演習I ●プログラミング演習II ●制御工学 ▲アナログ回路 ▲電気磁気学 ▲データ構造とアルゴリズムII ▲デジタル信号処理 ▲通信工学I ▲コンパイラ構成法 ▲計算機工学II	電子情報工学特別演習 ▲通信工学II ▲計算機工学III ▲センサーと計測 ▲通信・放送システム ●電子情報工学特別演習 ▲工業英語 ▲総合工業論 ▲デジタル電子回路 ▲センサと計測 ▲半導体デジタルグリーン インターンシップ ●工業数学 ●電子情報工学実験 ●電子系のための情報処理 ●集積回路プロセス ●半導体デバイス ●光エレクトロニクス ▲通信法規 ▲組込みシステム ●組込みシステム ●オペレーティングシステム ●電子情報工学実験B ●ネットワークシステム ●データベースシステム ▲オブジェクト指向プログラミング ●データベースシステム ●ソフトウェア工学 ●組込みシステム ●オブジェクト指向プログラミング ▲ソフトウェア開発演習 ●オペレーティングシステム ●計算機ネットワーク ●ネットワークシステム	卒業論文 ○情報職業論 ▲ロボティクス ▲マルチメディア概論 ▲ナノ構造科学 ○卒業論文 ○情報職業論 ○ロボティクス ○マルチメディア概論 ▲卒業論文 ▲情報職業論 ▲ロボティクス ▲マルチメディア概論 ▲卒業論文 ●情報職業論 ▲ロボティクス ▲マルチメディア概論

科目の詳細 ▶ シラバスWeb版 ▶

求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶために必要な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
- C 態度・志向性** 電子情報システムに関する高度な専門知識と倫理観を身に付けた情報通信技術者になることを希望し、自主的・能動的に学習をする態度を身に付けている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像 (求める能力) の詳細は



在学生の声



3年次生 井上 凌志 さん
(福岡県 城南高校出身)

実務に近い授業で“想定外”も乗り越える。演習では問いを解く研究の楽しさに触れた。

Q1 この学科の魅力は？

興味に応じて深掘りできる、専門性の高いコース別の学びです。1年次にプログラミングや情報分野の基礎を学ぶうちに興味が深まり、「情報コース」へ進みました。プログラミングの授業では、レジシステムの開発に取り組み、顧客対応を想定した要件整理や仕様変更にも挑戦しました。実務に近い学びを通して、将来に直結する確かな開発力が身に付きました。

Q2 好きな授業は？

「電子情報工学特別演習」です。実際の研究に近い形式で、テーマ設定や進め方の検討などをすべて自身で行います。先行研究を調査したり先生に相談したりと、問題点を整理しながら結論を導く過程が面白く新鮮でした。試行錯誤を重ねるうちに、問題解決を目指す考察力や問題に挑む姿勢が鍛えられ、本質的な研究の楽しさを知ることができました。

私の時間割(3年次後期)

	月	火	水	木	金
9:00			プロジェクト型	情報セキュリティ	
10:40			ソフトウェア開発演習	インターメディア・インクワイアリー	
13:00	ネットワークシステム				
14:40					音声情報処理工学
16:20			電子情報工学		
18:00			特別演習		

教員紹介 文仙 正俊 学科主任

電子情報工学を修めた後の進路は、半導体や通信技術、ハードウェア/ソフトウェア技術、人工知能といった技術を扱う電子情報分野はもとより、これらの技術が応用されるありとあらゆる分野です。自動車、宇宙、建設、運輸、医療、創業、エンターテインメント、商業、金融・保険、行政等、いまや電子情報技術に頼らぬ分野などありません。是非、電子情報工学を学び、幅広い分野にアクセスできる「パスポート」を手に入れてください。

教員・研究内容の詳細は ▶



▶ 卒業生の声

充実した半導体教育が専門性を高めてくれた。
幅広い知識がエンジニアとしての成長を支えている。

本学科でトランジスタやダイオードの動作原理、論理回路の構成などを学ぶ中で、それらがすべて半導体の基礎に基づいて構成されていると知りました。目に見えない小さな構造が膨大な機能を実現している点に強く惹かれたことが、半導体業界を志したきっかけです。現在は設備エンジニアとしてAIや外部センサーなどで機械の状態をリアルタイムに分析し、問題発生を未然に防ぐ仕事に従事しています。

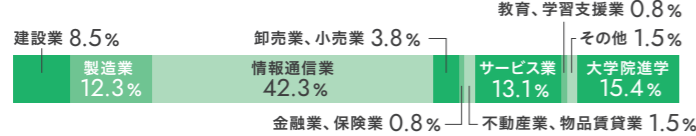
半導体製造では、物理学や電子工学など多くの専門分野が密に連携しながら、技術を開発しています。その点において、研究室の共同研究で意見交換や役割分担の重要性を学べたことが非常に役立っていると感じます。進歩が速い半導体産業の新しい知識を積極的に学び続ける姿勢も、大学での研究活動を通して得ることができました。学びが関心を生み、今の仕事に結び付き、半導体製造を通じて人々の生活を支えるという使命感につながっています。



土井 翼 さん (2025年卒業)
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing 株式会社

▶ 主な就職先・進路

2025年度卒業生実績(業種別)



[就職先の例 2023年度~2025年度]

- NTT西日本(株)
- 日本アイ・ビー・エム(株)
- (株)Qinet
- NTTドコモ
- ソリューションズ(株)
- キンドリルジャパン(株)
- (株)日立社会情報サービス
- (株)OKIソフトウェア
- (株)シティアスコム
- 西部ガス情報システム(株)
- 日産自動車(株)
- 住友化学(株)
- 沖電気工業(株)
- シャープ(株)
- キオクシアシステムズ(株)
- 九州電力(株)
- 西部ガス(株)
- (株)クラフティア
- (株)ドコモCS九州
- (株)西日本シティ銀行
- 福岡国際空港(株)
- など

▶ 取得可能な主な資格

- 在学時から受験できる資格
応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、ITパスポート試験、第二級陸上特殊無線技士(二陸特)、第三級陸上特殊無線技士(三陸特)
- 所定の単位修得により取得できる資格
高等学校教諭一種免許状「情報」、高等学校教諭一種免許状「工業」、第一級陸上特殊無線技士(一陸特)、第二級海上特殊無線技士(二海特)
- 所定の単位修得により一部の試験が免除される資格
第一級陸上無線技術士(一陸技)、電気通信主任技術者、電気通信の工事担任者

TOPICS

就職に強い理由

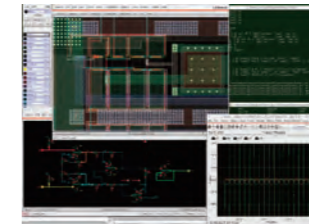
- 社会のニーズ
何より、電子情報技術があらゆる分野で必要とされていることが最大の理由です。
- カリキュラム
1,2年から必修科目において、ICT業界の技術者や学科OBによる講演等を通じ、キャリアについて考える時間を設けています。3年では更に実践的に、ソフトウェアの開発プロセスを体験したり、チームで実際のシステム開発を行う演習を設けています。
- 学科独自の支援
全学的な支援に加え、ICT業界を中心とした会社説明会の開催、就職担当教員との面談、履歴書の添削指導、面接練習など、分野に即した細やかなキャリア支援を行っています。

電子情報工学科では何を研究しているの？

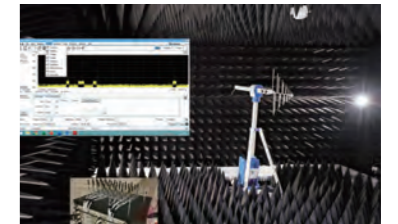
電子通信、情報システムに関する先端的な研究を行っています。

【電子通信分野】

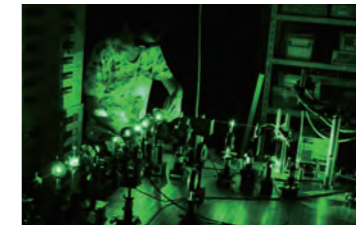
- 半導体デバイス・ナノエレクトロニクスの研究
- 情報通信ネットワークの研究
- グリーンエレクトロニクスの研究
- 光情報処理の研究
- 次世代ワイヤレス通信の研究



半導体集積回路の研究



次世代ワイヤレスネットワークの研究



光情報処理の研究



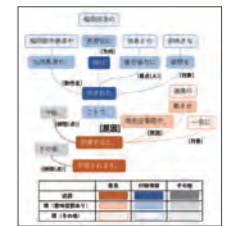
半導体デバイスの研究

【情報システム分野】

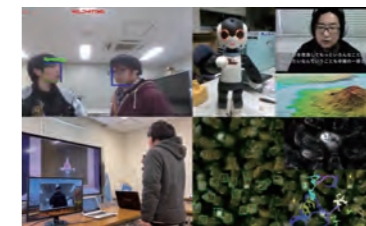
- 自然言語処理の研究
- 音声・画像などのマルチメディア処理の研究
- 知能ロボットの研究
- 計算機システムの研究
- スマートデバイスの研究



自動車運転支援の研究



自然言語処理の研究



音声・画像などのマルチメディア処理の研究



スマートシステムの研究

TOPICS

学科の取り組み

授業ではノートPCを積極活用

電子情報工学科では、学生全員が自分のノートPCを持って、講義や演習のその場その場で各種のアプリケーションを使ったり、コードを書いたりすることで、学習内容の一層の理解と定着を図る試みを進めています。すでにいくつもの科目で、Word、Excel、PowerPoint等の一般的なソフトウェアはもとより、ソフトウェア開発環境、エンジニアリングにおける定番ソフトウェア、学科で内製したソフトウェアが活用されています。

詳細は https://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/download/byod/byod_tl_2025.pdf をご覧ください。



化学システム工学科

Department of Chemical Engineering



学科
公式ウェブサイト



新素材、エネルギー、医薬、バイオ、環境プロセスなどの幅広い分野の研究・技術開発に貢献する化学技術者へ

化学システム工学科では、無機・有機・高分子化学やバイオサイエンスなどのサイエンスの知識や、反応工学、システム工学、バイオテクノロジーなどのエンジニアリングの知識とともに、それらを高度に組み合わせることで社会に役立つモノやそれらを効率的に生産する仕組みをつくりだす高度な専門知識を学びます。多様な講義と充実した実験や演習により、実践的な問題解決能力を養い、企業や研究機関での研究・技術開発に貢献する化学技術者をめざします。多くの卒業生が、化学、製薬、食品、化粧品、自動車、半導体業界などの大手企業へ就職しています。

化学システム工学科で学べること

1年次	2 / 3 年次	4年次
工学共通科目 専門科目を理解するための基礎 数学 物理 化学 3コース共通の専門科目 化学の基礎科目 共通教育科目 人文科学 社会科学 外国語 一般教養である「共通教育科目」や、数学・物理など工学に必要な「工学共通科目」を中心に学びます。「専門科目」では、化学の基礎科目を多く学びます。	化学工学コース ナノから環境・エネルギーに及ぶ広範囲な現実課題に対して、化学工学的な解決を目指す必修科目 応用化学コース 微視的な視点に基づいて、無機材料、有機材料、高分子材料、生体関連材料などの工学的な応用展開を目指す必修科目 生物工学コース バイオテクノロジーやライフサイエンス分野などの専門知識を学ぶための必修科目 化学システム工学の基礎科目および実験・演習科目 コースに分かれ、「化学工学コース」、「応用化学コース」、「生物工学コース」のいずれかに進みます。2年次では3コース共通の専門科目を中心に学び、3年次より本格的にコース別の科目を学びます。	卒業研究 3年次末に研究室に配属され、4年次より「卒業論文」に取り組みます。

専門教育科目カリキュラム (2026年度入学生適用) ●必修科目 ▲選択科目

	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通科目	●微分積分I ●線形代数I ●力学A ●基礎物理化学A ●基礎物理化学B	●基礎無機化学 ●基礎有機化学I ●基礎有機化学II ●分析化学 ●物理化学実験	●化学実験 ▲微分積分II ▲線形代数II ▲力学B ▲物理学A	●生物科学 ▲力学C ▲関数論	▲数理統計I
全コース共通	●化学工学計算法 ●化学と産業 ●キャリアデザイン	▲無機材料の化学と応用 ▲グラフィックデザイン ▲生物学総論 ▲宇宙科学	●化学・生物工学演習II ●反応工学 ●外書講読・コミュニケーション ●化学・生物工学実験II	▲食品工学 ▲総合工業論	●化学・生物工学演習III ●化学・生物工学演習IV ●卒業論文 ●化学装置設計 ●環境エネルギー工学 ▲化学工学特別講義
化学工学コース		●粉粒体工学 ●化学工学数学	●輸送現象 ●伝熱工学 ●化学統計熱力学 ●プロセスシステム工学 ●化学プロセス工学	▲拡散分離工学 ▲高分子化学 ▲生物薬理化学 ▲生物化学工学	
応用化学コース	●応用無機化学 ●応用有機化学 ●環境安全工学	▲粉粒体工学 ▲化学工学数学 ▲微生物工学	●無機製造化学 ●ソフトマテリアル ●物性化学 ●応用触媒化学 ●高分子化学	▲輸送現象 ▲バイオマテリアル ▲生物薬理化学 ▲生物化学工学	
生物工学コース	●応用無機化学 ●応用有機化学 ●微生物工学	▲粉粒体工学 ▲化学工学数学 ▲環境安全工学	●ソフトマテリアル ●バイオマテリアル ●生物薬理化学 ●生物化学工学 ●高分子化学	▲輸送現象 ▲無機製造化学 ▲物性化学 ▲応用触媒化学	

科目の詳細 >
シラバスWeb版 >

求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人
- C 態度・志向性** 化学・生物や化学工学・生物工学に関する専門知識と倫理観を身に付けた化学技術者や環境技術者をめざす人
- D その他の能力・資質** 英語の資格を取得した人、課外活動(体育・文化・ボランティア)で顕著な成果を収めた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



在学生の声



2年次生 小野 綾香さん
(福岡県 福岡中央高校出身)

日常のさまざまな場面で化学を発見。
ケミカルエンジニアへの将来像が鮮明に。

Q1 この学科の魅力は?

講義で学んだ知識や理論を基に実験を重ねる中で、体系的に理解を深められる点です。演習で計算や分析などの手法を学び、実験で専門的な機器を操作し、試行錯誤しながら結果を確かめます。車や石油、ガラス、さらには医療品や食品といった身近なものに化学が関わっていることが分かり、数学や物理と日常生活との密接な結びつきを実感しています。

Q2 好きな授業は?

「化学工学実験」です。実験を通して、教科書の内容を自分の手で確かめながら学べるからです。実験レポートの作成では、データや根拠に基づいて考察を組み立てる力が鍛えられ、筋道を立てて説明する力も磨かれたと感じています。パソコンで実験結果をシミュレーションする作業では、将来エンジニアとして働く将来像を具体的に描くことができました。

私の時間割(2年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00	機器分析	環境安全工学			
10:40	インターメディアティブイノベーション	教職概論	化学工学プログラミング		教育制度論
13:00		応用物理化学	特別支援教育論		教育福祉論
14:40	心理学A	化学工学実験 I			化学工学実験 I
16:20	教育法規		道徳教育論		

教員紹介 加藤 貴史 学科主任

私たちの学科は、「化学」と「工学」が融合した化学工学分野の学科です。化学反応等を学ぶ化学の領域に加え、社会に役立つさまざまな素材を、効率的に、安全に、そして環境に配慮しながら作り出す技術を総合的に学びます。少人数授業が多いため、学生の学習意欲が高く大学院進学者が多いことも特徴です。国内有数の実験設備と経験豊かな教授陣が皆さんをお待ちしています。未来の化学技術者、研究者を目指し、私たちと一緒に学んでみませんか。

教員・研究内容の詳細は >



卒業生の声

ものづくりの現場で求められる化学工学。
学びの幅は就職の選択肢を広げる。

本学科では、化学・物理・工学など幅広い分野を横断的に学べます。専門科目では、粉粒体工学・流体工学・化学工学プログラミングなど、物理を含む分野の理解を深めることができます。また、卒業論文の実験を通じて、化学産業で用いられる反応や反応装置の基礎を学ぶため、実践的な理解が得られました。

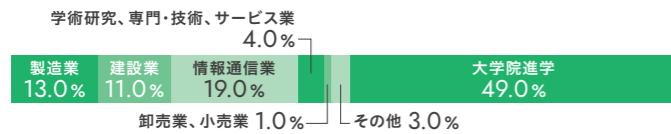
現在は主に透析治療で用いる医療機器や医薬品の開発に携わっています。工学的分野の先には医療機器が、化学分野の先には医薬品があり、透析治療で使用される人工腎臓(ダイアライザ)の改良でも、化学工学や数学だけでなく、実験やグラフィックデザインなどの実技の学びが生きていると日々実感しています。関わった製品で症状が改善したという声を聞くと、大学での学びが社会に還元されていると思うと同時に、仕事のやりがいと責任感を感じます。学科で多岐にわたる分野を学んだことは、確実に業務の支えになっています。



奥永 七海さん (2022年卒業)
ニプロ株式会社

主な就職先・進路

2025年度卒業生実績(業種別)



【就職先の例 2023年度～2025年度】

- 日揮グローバル(株)
- TOPPAN(株)
- カゴメ(株)
- (株)ツムラ
- 三井化学(株)
- 三菱ケミカル(株)
- 東ソー(株)
- 日鉄ケミカル&マテリアル(株)
- 日産自動車(株)
- 京セラ(株)
- (株)ニチレイフーズ
- (株)ヤクルト本社
- 森永乳業(株)
- 東洋紡(株)
- 三菱電機(株)
- TOTO(株)
- 九州電力(株)
- 西部ガス(株)
- サントリーホールディングス(株)
- 福岡県庁 など

取得可能な主な資格

- 卒業と同時に取得できる資格
高等学校教諭一種免許(工業)*、毒劇物取扱責任者
- 資格取得に優遇が得られる資格
労働衛生コンサルタント、労働安全コンサルタント、危険物取扱者(甲種)、衛生管理者、消防設備士(甲種)、公害防止管理者
- 在学中に受験できる資格
危険物取扱者(乙種・丙種)、消防設備士(乙種・丙種)、環境計量士、高圧ガス製造保安責任者、火薬類製造保安責任者、火薬類取扱責任者、液化石油ガス整備士、エネルギー管理士、ガス主任技術者、臭気判定士、廃棄物処理施設技術管理者、環境測定分析士、防災士、作業環境測定士

*所定の単位を取得した者

TOPICS

就職に強い理由

社会に直結した実学教育と
手厚いサポート体制が
あるから就職に強い

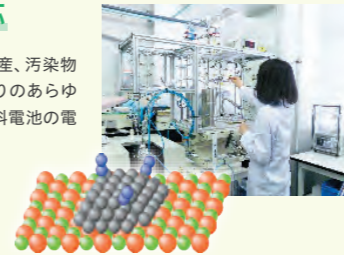
私たちの学科で学ぶ化学工学は、実際に企業で素材を開発・製造する際に必須の技術です。本学科では特に「技術者育成」に力を入れ、社会に直結した実践的な教育を行っているため、化学、製薬、食品、化粧品など多くの企業から高い評価を得ています。現在、学科の卒業生は4,000名を超え、その多くが化学技術者や研究者として第一線で活躍しており、学科には毎年多くの求人が寄せられています。さらに、手厚いサポート体制も本学科の特徴です。学科の担当教員と就職支援専任教員が、就職活動期間中の学生一人ひとりに寄り添い、内定獲得まで伴走します。

化学システム工学科では何を研究しているの？

化学・素材・生命・産業に関わる研究を幅広く行っています

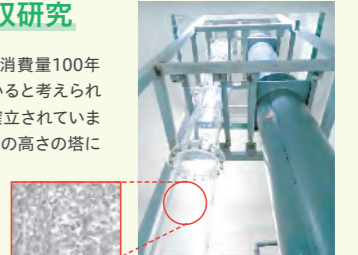
触媒表面の化学反応

固体触媒は燃料や化学品の生産、汚染物質の除去、燃料電池など身の回りのあらゆる場所で利用されています。燃料電池の電極触媒などエネルギー技術を支える触媒にターゲットを絞り、その表面化学反応を解明することから、よりよい触媒を開発する手法を見つけます。



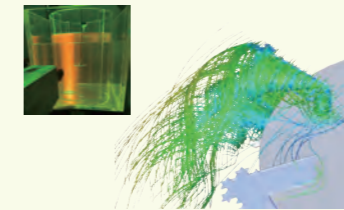
メタンハイドレート回収研究

日本の近海には、日本の天然ガス消費量100年分のメタンハイドレートが存在していると考えられていますが、その回収方法はまだ、確立されていません。この研究では、実験室の2階分の高さの塔に水を入れ、その途中からガスを吹き込むことで上昇流を発生させて、固体のハイドレートを吸い上げる方法を検討しています。



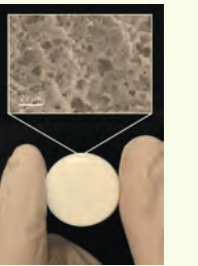
化学装置の流動現象解明

液体の容量が大きくなると均一混合が困難になります。そこで良好な化学反応をさせるための反応装置・攪拌装置の開発を目指し、装置内の流動現象を研究しています。実験・計測およびコンピュータシミュレーション等の手法により現象を解明しています。



生体機能性材料の開発

我々の細胞の表面にある“糖鎖”は、体内で細胞間接着、ウイルスや細菌の感染、受精、ガン転移等の生命現象に関わっている分子です。この優れた特徴をもつ糖鎖を高分子や材料中に組み込んで、ウイルスや細菌といった病原体を分離する技術開発を目指しています。



爆発事故を防ぐ技術開発

化学の取り扱いや管理方法を誤ると、爆発が起こり大惨事を招くことがあります。このような爆発事故を未然に防ぐ技術や爆発リスクの評価技術に関する研究を実施しています。



プロセス制御・最適化に関する研究

製造プロセスでは、優れた製品を作るために、制御最適化が必要不可欠です。化学プラントなど多くの分野で、利用される技術の研究を行っています。



基板上に均質な金属薄膜を成膜するためのスパッタリング装置

環境汚染粒子が細胞と出会う界面

大気汚染物質 PM2.5 や海洋汚染マイクロプラスチックなどが動物細胞や微生物に与える影響を解明するため、界面現象に注目した基礎研究を行っています。最近では、再生医療への応用を目指して、生細胞封入用マイクロカプセルの開発研究も行っています。



モデルPM2.5粒子を内部に取り込もうとしている大食細胞

カプセルなどの複合材料の開発

超臨界などの高圧力技術を用いて、医療・医薬・化粧品・食品などの開発を行っています。最先端の機器を導入し、ナノ・マイクロのカプセルが、人体に作用するメカニズムを研究したり、再生医療に使える素材を開発しています。



機能性無機材料

身の回りでは、環境の浄化やエネルギーの生産などに無機材料が役立っています。ここでは、優れた無機材料の開発と応用を研究しています。



社会デザイン工学科

Department of Civil Engineering



学科
公式ウェブサイト



安全で快適に暮らせるまちとアイテムを創造する、実践力を備えた土木技術者を目指して。

社会デザイン工学科では、私たちが安全で快適に暮らせるまちとアイテムを造り、守るための実践的な学習ができます。JABEE(日本技術者教育認定機構)に認定されている本学科の教育プログラムを修了すると、技術士第一次試験が免除され、卒業と同時に「技術士補」資格が取得できます。また、国土交通省認定カリキュラムにより、卒業と同時に「測量士補」も取得できます。専門分野の特徴から公務員になる割合が多いのも、工学部で唯一の特徴となっています。

社会デザイン工学科で学べること

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目で力をつける	応用科目で理解を深める	発展科目で興味を育む	自ら選んだテーマで研究をまとめる
<p>専門科目を構造・水工・地盤・計画・材料・環境の6本の柱に体系化し、それぞれに基礎科目、応用科目、発展科目を順次学ぶことでバランスよく理解を深めることができるカリキュラムです。</p> <p>分野を横断する科目(*印)や共通科目により、より広範囲な学習ができます。</p> <p>実験・実習・演習科目(◆印)が充実しており、実践を通じて深く理解することができます。</p>			

専門教育科目カリキュラム (2026年度入学生適用) ●必修科目 ▲選択科目

	1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目	●微分積分I,II ●線形代数I,II ●力学A,C	●統計 ▲物理学A ▲図学	●物理学実験 ▲化学実験 ▲物理学A ▲微分積分III,IV	▲基礎防災学
構造	●社会デザインの力学基礎*	●静定構造力学及び演習 ●不静定構造力学及び演習	●橋梁工学 ●構造・空間デザイン演習* ▲耐震工学・地震防災	
水工	●社会デザインの力学基礎*	●基礎水理学及び演習 ●応用水理学及び演習	●河川工学 ▲水資源工学	
地盤	●社会デザインの力学基礎*	●基礎地盤工学及び演習 ●応用地盤工学及び演習	●地盤工学 ●材料・地盤実験* ▲防災・環境地盤工学	
計画	●建設景観学	●社会基盤計画学 ●交通計画学	●都市計画 ●構造・空間デザイン演習* ▲景観デザイン論	●卒業論文
材料・構造	●建設材料学	●コンクリート工学 ●鉄筋コンクリート	●材料・地盤実験* ▲建設マネジメント	
環境	●環境工学概論	●地球環境工学 ●上下水道学	●環境アセスメント ▲廃棄物資源循環工学	
社会デザイン・共通	●社会デザインとの出会い ●工業数学 ●測量学 ●測量実習◆	●情報処理演習	●キャリアデザイン ●キャリア演習◆ ●技術者倫理 ▲建設CAD	▲社会基盤の維持管理 ▲実践測量実習◆ ▲工業火災学 ▲総合工業論

*分野を横断する科目 ◆実験・実習・演習科目

科目の詳細

シラバスWeb版



求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
- B 技能** 社会の問題を自ら調べ論理的思考に基づいて、自分の意見を論理的に説明することができる人
- C 態度・志向性** 高度な専門知識と倫理観を身に付けた技術者になることへの夢を持ち、専門知識を社会のために積極的に活用したいと考えている人
- D その他の能力・資質** 自己研鑽により英語の資格を取得した人や課外活動等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



在学生の声



2年次生 福島 実里さん
(福岡県 筑陽学園高校出身)

景観から構造・材料まで、幅広く学ぶまちづくり。実地調査と発表で観察力と思考力が磨かれた。

Q1 この学科の魅力は？

実践的な講義が多い点です。測量実習で土地や地形を読み取ったり、水理・環境実験で水の流れを検証したりするうちに、机上だけではイメージできなかった空間や構造が、立体的に捉えられるようになりました。また、コンクリートやアスファルトの配合を学ぶ授業もあり、基盤となる材料の特性を知ることにより、良いまちづくりにつながると実感しています。

Q2 好きな授業は？

公共の空間づくりについて学ぶ「建設景観学」です。グループで行う「視点場探索」では、普段は意識しないベンチの配置や高さなどを現地で観察・測定し、景観の見え方を設計者の視点から捉えることで、景観設計の基礎を楽しく学べました。調査での気付きをもとに改善案を提案する機会もあり、考えを整理して分かりやすく伝える力が身に付きました。

私の時間割(1年次前期)

	月	火	水	木	金	土
9:00	朝鮮語 I A	フレッシュマン・イングリッシュ I	建設景観学		西洋文学 A	データサイエンス・AI入門
10:40		測量学	線形代数 I	朝鮮語 I B		
13:00	工業数学		宗教学 A	微分積分 I	力学 A	
14:40	社会デザインとの出会い		生涯スポーツ演習 II	フレッシュマン・イングリッシュ III		
16:20						

教員紹介 鈴木 慎也 学科主任

社会デザイン工学科の魅力は、日常生活に密着した学問分野であるため、興味・関心を持ちやすい点にあります。教育・研究に熱心に取り組む教員スタッフはもちろんのこと、親身に相談に乗ってくれる上級生とのつながりも強く、さまざまな課題に幅広く取り組んでいます。きれいで設備の充実した広大なキャンパスの下、好奇心に満ちた将来進路を描けるよう、私たちと一緒に学んでいきましょう。入学をお待ちしています。

教員・研究内容の詳細は



卒業生の声

技術の最先端を現場で学べる機会が充実。
磨いた実践力で社会インフラを支える一員に。

「たくさんの方が利用する『空間』を自分の手で創りたい」という想いから、社会インフラの基礎から応用まで幅広く学べる本学科に進学しました。学科では、構造力学・地盤工学・コンクリート工学などの基礎知識を学ぶとともに、機械据付やレベル計算など実践的な演習にも取り組みました。さらに、グループワークの授業では、異なる意見をまとめて最適な解決策に導く調整力を養うことができました。実際に現場や施設を見学する機会も多く、社会インフラの重要性や社会貢献度の高さを肌で感じられたことが、ゼネコンで働きたいと思う大きなきっかけになりました。

現在は、工場の新築工事において地下基礎躯体の鉄筋工事を担当しています。工期管理や協力業者との調整に苦勞することもあります。構造物が少しずつ形になっていく過程を間近で見られるのは大きなやりがいです。そして何より、在学中に培った社会インフラに関する多分野の知識が、仕事における確かな土台となっています。



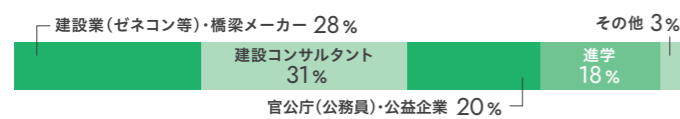
寺野 綜太 さん (2022年卒業)

清水建設株式会社

工学研究科 建設工学専攻 博士課程前期 (2024年修了)

主な就職先・進路

2025年度卒業生実績(業種別)



[就職先の例 2023年度~2025年度]

- (株)大林組
- (株)エイト日本技術開発
- (株)国土交通省九州地方整備局
- 五洋建設(株)
- (株)オリエンタルコンサルタンツ
- 福岡県庁
- 清水建設(株)
- (株)建設技術研究所
- 福岡市役所
- 大成建設(株)
- (株)千代田コンサルタント
- 北九州市役所
- (株)富士ビー・エス
- 日本工営(株)
- 横浜市役所
- 前田建設工業(株)
- パシフィックコンサルタンツ(株)
- JR西日本
- 横河ブリッジ(株)
- 八千代エンジニアリング
- NEXCO西日本

取得可能な主な資格

- 教職課程の所定の単位修得により取得できる資格
高等学校教諭一種免許(工業)
- 申請のみ(無試験)で取得できる資格
技術士補、測量士補
- 卒業後の実務を経て取得できる資格
技術士、土木施工管理技士、建設機械施工技士、造園施工管理技士、管工事施工管理技士、舗装施工管理技術者、コンクリート技士、測量士、RCCM、ドローン測量管理士、鋼橋架設等作業主任者、コンクリート橋架設等作業主任者、道路橋点検士、土木鋼構造診断士、舗装診断士、コンクリート診断士 他多数

TOPICS 就職に強い理由

- JABEE修了生ブランド
JABEE認定プログラムであるため、卒業後ただちに技術士補として活躍でき、技術者の最高峰資格である技術士へも近道です。それゆえ全国規模の大企業へも自在に就職できます。
- 独自の就職説明会でよりよい出会い
毎年開催される学科独自の就職説明会には250を超える会社・団体が参加するので、貴重な情報が得られます。本学科を卒業した6,000人を超えるOBの支援もありよい就職活動に導きます。
- 進路選択に役立つインターンシップ
インターンシップへの参加を積極支援しています。3年次の夏休みにはほとんどの学生が参加しています。夏休み終了時には各自が成果をポスター発表することでそれぞれの経験を共有しています。
- 公務員になる人も多数
公共性が強い社会デザイン工学科だから公務員も進路選択の一つです。公務員試験対策にも力を入れており、その結果毎年多数が技術職の国家公務員や地方公務員になっています。

社会デザイン工学科では何を研究しているの？

目立たないところでも、人々の暮らしに役立つ技術を研究しています

日々の便利な暮らしを支えるために

橋など私たちの暮らしに役立つ構造物を設計し、架設するための技術開発をしています。またそれらを安全・快適に使うための点検や保全に関する研究と宇宙環境を想定した構造物に関する研究も進めています。



福岡のまちを支える都市高速道路の橋

水害にも強い暮らしを実現するために

大雨が降ったときに発生する浸水被害を減らすためには、社会全体で洪水に備える必要があります。洪水の予測技術から1軒の住宅でできる浸水対策まで、水害に強いまちづくりを目指して研究しています。



豪雨による増水で転倒した鉄道橋脚

足下から

暮らしの安心を支えるために

地盤工学は、安全な構造物建設だけでなく、地震や豪雨による地盤災害の防止・軽減、地盤・地下水環境の保全のための学問です。そのための土と地盤の診断技術と環境に優しい補強・改良技術について研究しています。



弱い地盤を強くする地盤改良技術

より便利で

魅力的な都市にするために

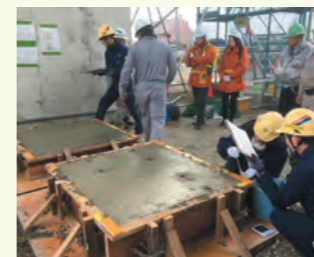
私たちは暮らしの舞台である都市空間のデザインについて考えています。快適で美しいまちや公園、便利で使いやすい公共交通や道路など、暮らしやすい都市の実現を目指す研究を進めています。



大分昭和通り・交差点四隅広場整備

安全で長持ちする施設をつくるために

構造物の建設には、コンクリートが必要不可欠です。今よりも良い構造物を建設するために、そして不可能を可能にする次世代コンクリートについて研究開発を行っています。



有明湾岸道路でのコンクリート性能実験

豊かな環境を未来に引き継ぐために

私たちは環境問題に積極的に取り組んでいます。全てが環境に優しい社会の実現を目指して、地域環境問題から地球環境問題まで、ローカルとグローバルの両面からの研究を行っています。



本学科発の埋立技術「準好気性埋立」

TOPICS 学科の取り組み

きめ細やかな学習指導

副担任教員は半期ごとに面談し、学修の到達度をチェックしつつ卒業まで導きます。在学生同士が学習支援をする仕組み「TC学習サポートデスク」もあり、不安があれば上級生に教えてもらうことができます。



卒業生の声

専門性の高い先生方と興味を深掘りできる。
現場見学やインターンで将来像が見えた。

ものづくりへの好奇心が、次第に建物やインフラの背後にある技術へと広がり、人々の生活や社会に大きな影響を持つ建築学に興味を持ったため、意匠・構造・環境など幅広く学べる本学科を志望しました。本学科は多様な分野に精通した先生方が多く、興味を深掘りできる環境が整っていることが魅力の一つです。

授業の一環で工事現場の見学や施工管理職のインターンに参加したことがきっかけとなり、ゼネコンの仕事に憧れを持ちました。現在は設計部で食品や医療品等の生産工場を設計しています。国が定めた衛生基準やクライアントの高水準な要望を満たすだけでなく、作業動線、働く方の労働環境、企業の魅力が伝わる外観なども考慮し、他部門や現場の技術者と検討を重ねながらチームで建物を創り上げます。自分の意見が反映された建物の竣工時はやりがいを感じます。大学で培った探求心は設計を検討する仕事にも非常に役立っています。



鳥飼 小華さん (2023年卒業)
大成建設株式会社

主な就職先・進路

2025年度卒業生実績(業種別)



[就職先の例 2023年度~2025年度]

- (株)大林組
- 東急建設(株)
- (株)日建設計
- 鹿島建設(株)
- 新菱冷熱工業(株)
- (株)乃村工藝社
- 清水建設(株)
- 高砂熱学工業(株)
- (株)内藤建築事務所
- 大成建設(株)
- TOTOアクアエンジニア(株)
- 生和コーポレーション(株)
- (株)竹中工務店
- 住友林業(株)
- 福岡県庁
- 戸田建設(株)
- 積水ハウス(株)
- 福岡市役所
- 前田建設工業(株)
- 大和ハウス工業(株)
- など

取得可能な主な資格

在学時から受験できる資格

宅地建物取引士、不動産鑑定士、土地家屋調査士、インテリアコーディネーター、インテリアプランナー、色彩検定、カラーコーディネーター、福祉住環境コーディネーター、照明コンサルタント、商業施設士補、2級建築士[※]
※工業高校等で指定科目を修めて卒業した学生は受験ができます

教職課程の所定の単位修得により取得できる資格

高等学校教諭一種免許(工業)

卒業後受験資格が得られる資格

1級建築士[※]、2級建築士、木造建築士
※卒業後に受験可能ですが、建築士の免許を登録するには2年以上の実務経験が必要です

卒業後の実務を経て受験資格が得られる資格

構造設計1級建築士、JSCA建築構造士、設備設計1級建築士、建築基準適合判定資格者、1級建築施工管理技士、コンクリート主任技士、建築設備士、技術士

TOPICS

就職に強い理由

建築学科から
飛躍への第一歩を踏み出そう!

本学科の卒業生は、建築設計事務所や建設会社だけでなく、不動産開発、環境設計、建築行政など、さまざまな分野で活躍しています。本学科では設計、施工、CAD(コンピュータ支援設計)などの実践的なスキルを重視するとともに、3年次のキャリアセミナー、2年次の建築キャリアデザインなどキャリア教育も充実しています。業界に精通した教員と実務技術者が協力し、学生は最新の情報と技術に触れ、建築業界の見識とつながりを深めます。さらに本学科の評判や卒業生の実績はとて高く評価されています。これらが就職に強い要因であり、本学科の学生は多岐にわたるキャリアチャンスを得ることができます。

建築学科では何を研究しているの?

安全・安心できる建築・都市の創造に貢献しています

—建築学科では、主に次の三つの分野において「住みやすい」を科学しています—

建築・都市のデザイン

快適で機能的な居住空間や都市空間を実現するためのデザイン手法やデザイン理論に関する調査・研究を行っています。また、さまざまなプロジェクトを通して実際の建築・都市デザインを実践する活動を行っています。

- 快適で暮らしやすい住環境デザインの研究
- 地球環境に優しい持続可能な都市・地域モデルの研究
- 歴史の中に根付いてきた建築・都市デザインの研究

5号館総合改修



改修により、建築物の長寿命化を図るだけでなく、より安全で快適な、現代のニーズに合った建築物へ再生。

キャンパスデザインへの参画



学内コモンスペース充実のため、学生自身の設計・施工によるリノベーションに取り組んでいます。2022年度は有朋会館ラウンジの家具制作を行いました。

熊本地震復興支援活動



頻発する自然災害に対し、住環境を改善するためのボランティア活動を行っています。写真は仮設団地内集会所「みんなの家」の設計・施工ワークショップの様子。

建築環境・材料・構法

建築内の環境をどう制御するのか、建築を構成する材料やその組み合わせはどうすれば環境負荷が小さく、長寿命となるのかなどについて、幅広く調査研究を行っています。主な研究のテーマは次のようなものです。

- 健康で快適な室内環境を実現し、かつ省エネとなる構法の研究
- 人の暮らしを豊かにする先進的な環境制御技術の提案
- 環境に優しく、リサイクルしやすい新しい建築材料の開発



木材を床の構造材に用いた場合の問題点把握のための施工実験



デザイン性と適度な昼光を取り入れる機能性を兼ね備えたシェーディングファサードの設計

建築の構造

大きな災害をもたらす地震や台風などに対しても住宅や建築が安全を保つためにはどうすればいいのか、新しい建築のデザインを実現するための新しい構造技術などについて調査研究を行っています。西日本屈指の実験施設を備え、教員とスタッフの手厚いサポートのもと、主に次のような研究テーマを進めています。

- 建築の安全性を高める効果的で持続可能な構造設計法の開発
- 地震や強風による揺れを抑制する免震・制振技術の開発
- 古い建物を新しく生まれ変わらせる耐震補強技術の開発



免震構造の積層ゴムの研究は、福岡大学が日本で最初だって知っていました?



どうしたら建物を地震から守ることができるか、大型試験機で検証

TOPICS

学科の取り組み

福岡大学建築展

建築学科では、毎年2月にアクロス福岡で「福岡大学建築展」を開催しています。卒業設計・卒業論文の優秀作品、2年次生、3年次生の設計演習作品、大学院生のコンペ入賞作品など学生の作品を中心に建築学科の成果を広く公開しています。





マスコットキャラクター
ビバ吉



福岡大学ものづくりセンターは、福岡大学生の学びをサポートする施設です。ものづくりの経験が豊富な技術職員がサポートしますので、初心者でも安心してものづくりを行うことができます。

POINT
1 全学部全学科が対象

ものづくりセンターは文系や理系に関わらず、全学部学科の学生、および教職員が無料で利用できる施設で、研究から趣味のものまで、自由にものづくりを行うことができます。専門の技術職員がサポートしますので誰でも気軽にものづくりを始められますし、一般的なものづくりに使用する道具や機械の他に、レザークラフトなどのマニアックな道具の貸し出しも行っています。機械を安全に使うために機能や使用方法などを説明する講習も行っていますので、ものづくりの経験が全くない方でも大丈夫です。なお、材料は持ち込むこともできますが、センターにストックされている木材、鋼材や電子パーツなどの原価販売を行っているほか、他の利用者のものづくりで出た端材などは無料で使用することができますので、費用面の相談も受け付けています。

広いスペースで
ものづくり



POINT
2 アイデアをカタチに

技術職員のアドバイスで、初心者でも好きなものが作れます。以下の作品を作った学生たちも、最初は全員が初心者でした。

過去の作品を紹介！

レザークラフト



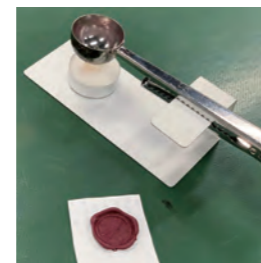
好きな色を組み合わせて作った、二つ折り財布です。
(法学部学生)

コスプレ衣装



自主制作の映画で使用するコスプレ衣装を作りました。
(映画研究部)

シーリングスタンプ



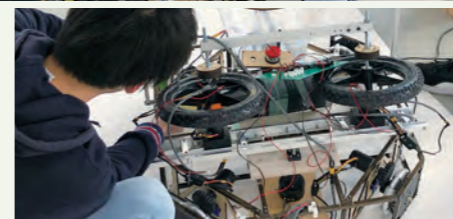
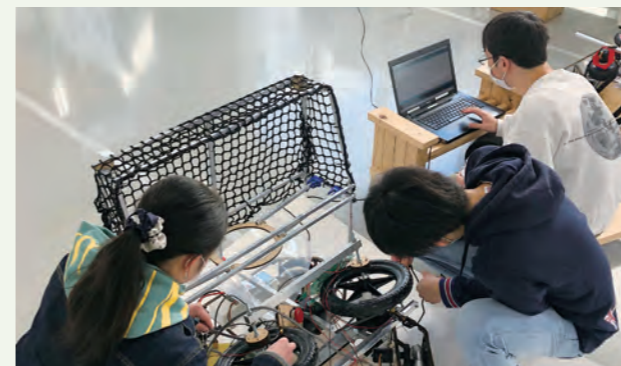
3Dプリンタでシーリングスタンプ(封筒を封印する蠟を押すスタンプ)を作りました。
(機械工学科学生)

クリスマスオブジェ



木工で作ったトナカイとそのクリスマスオブジェです。そこには人が乗ることもできます。
(インテリアデザイン研究会)

活動紹介 **1 教育 | ロボットプロジェクト**



本センターにはいくつかのプロジェクトがあり、ロボットプロジェクトはNHK学生ロボコンなどのロボット競技への出場を目指して、ロボット製作を行っています。文系や理系の学部学科に関係なく、ロボット製作に興味がある学生が集まって、チームでロボット製作に励んでいます。メンバーのほとんどはロボットの製作はもちろん、プログラミングや工作機械を使って部品を加工した経験もない状態からのスタートですが、一から学んでいます。学生主体のプロジェクトですが、プログラミングなどは専門の技術職員のサポートで学んでいけますし、部品の加工は3Dプリンタに加えてプラズマ加工機やレーザー加工機などの図面通りに加工してくれる工作機械が使えるので、初心者の方でも気軽に参加できます。

NHK学生ロボコン以外にもロボット競技は開催されていて、小規模な競技会にも出場しています。テーマは毎回変わるので、常に新しいものに挑戦していけるプロジェクトです。

活動紹介 **2 教育 | プログラミングプロジェクト**

もう一つ紹介するのは、プログラミングプロジェクトです。プログラミングプロジェクトは主にアプリ開発コンテストやハッカソン(数時間から数日間の短期間でソフトウェア開発を行うイベント)への出場を目指して、ソフトウェアの開発を行っています。アプリケーションの開発に興味がある学生が集まっていますが、ほとんどの学生は大学入学後にプログラミングを学び始めており、チーム内でアイデアを出しながら試行錯誤を繰り返しています。少しずつ実力を高めた結果、過去に参加したイベントでは入賞することができました。アプリケーション開発は個人のノートパソコンを使うことが多いのですが、所有しているノートパソコンでは開発が行えない場合などは、ものづくりセンターのサポートで必要な機器を準備してもらっています。

プログラミングプロジェクトは、仲間と協力しながら一つの作品を完成させることを通して、大きな達成感を味わうことができるプロジェクトです。



最新情報をCHECK!

SNS

- Instagram > 福岡大学ものづくりセンター【公式】
ID fukuoka_mono
- X > ビバ吉 @福岡大学ものづくりセンター【公式】
ID @fukuoka_mono

WEB

福岡大学
ものづくりセンター
Webサイト

福岡大学で学ぶことの魅力



1 学部を越えた交流の機会

福岡大学はすべての学部がこのワンキャンパスの中にあります。例えば、薬学部や人文学部の学生さんたちとも、部活やサークル、あるいは一部の授業などで一緒になる機会があり、幅広い分野の人たちと知り合いになることができます。国立大学を含む九州地域の大学の中でみても、これほどの多様性に触れられる環境は他にはないといえます。



3 多彩な施設

福岡大学の広さはみずほPayPayドーム福岡約45個分もあり、すべての規模が大きく、施設も充実しています。



キャンパス内



食堂やカフェも充実

208万冊の蔵書数を誇る図書館

2 国際交流の機会

皆さんの中には、大学に入ったら海外留学や国際交流をしたいと考えている人もいないかと思えます。そのような人向けに福岡大学では国際交流の様々なメニューを用意しています。

- 海外留学
 - ・ 交換留学プログラム
 - ・ 短期研修プログラム
- 語学講座
 - ・ 特別授業(英語・フランス語・朝鮮語・中国語)
 - ・ 短期集中講座(英語)
- 学内国際交流
 - ・ FIT(福岡大学国際交流学生ボランティアチーム) など

4 住みやすい福岡市

- コンパクトシティで交通の利便性が高い
- 福岡市には大企業の支社が多いので、会社訪問などの就職活動もしやすい
- 多様な文化を体験できる立地(国際的なスポーツイベント、音楽イベント、ファッションなど)
- 豊富で多様なアルバイト先(ドーム球場、コンサートスタッフなど)



5 授業料の負担軽減制度

- FUスカラシップ
前期日程、共通テスト利用型(1期)入試において優秀な成績を収めた合格者を対象に入学後の授業料を最長4年間半額免除
- 福岡大学独自の奨学金制度(給付型、貸与型)
- 授業料等減免制度(家計が急変した際に支援)
- 特待生制度
成績優秀者を表彰し、奨学金として30万円が授与(工学部で毎年30人程度)

工学部Q&A

Q 工学と理学は、どう違うのですか？

A 工学(Engineering)は、私たちの暮らしを支え、安全で快適な社会を実現することを目指した学問です。実社会のさまざまな課題に対し、科学技術を駆使して解決することを大きな目的としています。一方、理学(Science)は、真理の探究を目指した学問です。自然の法則を発見し、さまざまな自然界の現象を解き明かすことを大きな目的としています。工学部で学ぶ専門分野は、実社会の産業と直結しています。そのため、**大学で学んだことが直接仕事に生かされる**ことも大きな特徴の一つです。

Q どのような教育方針ですか？

A 大学の使命である教育、研究、社会貢献の中でも特に**教育を重視**し、基礎から応用まで懇切丁寧に教育しています。実社会の技術者は常に新しい技術と向き合っている仕事をしますが、それらの先端技術はいずれも基礎技術・理論の上に成り立っています。そこで福岡大学工学部では、まず基礎理論・技術をしっかりと修得させ、その上で時代のニーズに合った先端技術を学ばせています。そのため、**産業界からは「福岡大学工学部の卒業生は基礎が身につけている」と高く評価**されています。

Q 教育の特徴を教えてください。

A 実践的技術者を育成するため、**PBL(課題解決型学習)**の導入に取り組んでいます。また、**すべての授業にICTを活用(FUプラスアップ授業)**するとともに、**eラーニングやアクティブ・ラーニング**も導入しています。さらに、「ものづくりセンター」では、9学部31学科を有する総合大学ならではの幅広い交流機会を生かし、文系学部を含む工学部以外の学生ともチームを組んで創作活動を行うことで、豊かな創造性を養っています。

Q 国公立大学と教育内容に差はありますか？

A 教育する内容、授業を担当する教員の経歴などは国公立大学と比較しても遜色はありません。また、学生数に対する教員数も、私立大学としては珍しく国公立大学に近い比率となっています。加えて、福岡大学工学部では私立大学ならではの「**丁寧で手厚い教育**」を行っています。日本は、終身雇用制から欧米で一般的なジョブ型雇用制(職務内容に基づいて能力のある人材を採用する方式)に変化しつつあり、それに伴い、どこで学んだかという「**学歴社会**」から何を学んだかという「**学修歴社会**」に変わろうとしています。そのため、**教育を重視する福岡大学工学部**で学ぶことで、社会に大きくはばたくチャンスをつかむこともできます。

Q 「丁寧で手厚い教育」とはどのようなものですか？

A 福岡大学工学部では、教員一人一人が常にわかりやすい授業を心がけ、実社会での実例を挙げたり、実物を見せたりするなど、学生が理解しやすいように工夫を重ねています。また、授業でわからないことがある学生のため、授業時間以外にも学生が授業担当教員に個別に質問できる時間を設けています。さらに、それでもわからないことがある学生への対応として、授業担当教員とは別に個別指導を受けられることができる「**工学部学習支援室 T-Square(ティースクエア)**」を設置しており、そこに所属する専門教員が懇切丁寧に学習をサポートしています。その他、演習や実験・実習などの科目では、授業担当教員の他に大学院生による**TA(ティーチングアシスタント)**も加わり、充実したスタッフによる目の行き届いた教育を行っています。

Q 高校で物理または化学の一方を履修していないのですが、大学でついていけますか？

A 1~2年次に工学共通科目として物理と化学が用意されています。高校で物理や化学を履修しなかった学生は、ここでしっかり勉強すれば大丈夫です。

Q どんどころに就職できますか？

A 卒業生は、全国規模の大企業から地元企業まで幅広く就職しています(2025年度工学部就職率:98.1%)。具体的な就職先は各学科のページに紹介されています。大企業への就職実績に関しては国公立大学と比較しても遜色はありません。また、関東・関西の大学と比べても引けを取っていないというデータもあります。福岡大学の特徴として、卒業生の数が多いことが挙げられます。そのため、**どこの企業にも必ずと言っていいほど福岡大学を卒業した先輩がおり**、加えて福岡大学の卒業生は結束力が強いことでも有名です。これは、福岡大学に入学することで得られる貴重な人脈であり、**就職活動の際だけでなく、就職後においても大きな助け**となります。

Q どのような就職活動支援が得られますか？

A 福岡大学にはキャリアセンターが設置されており、そこでは求人情報を提供するとともに、多数の企業が集まる学内企業説明会や多彩な就職活動セミナーの開催、インターンシップなどを行っています。また、就職・進路相談や履歴書・エントリーシートの添削、面接指導などについては、キャリアセンターの職員だけでなく、**産業界と深いつながりを持つ工学部の教授陣による業界のニーズを踏まえたマンツーマンのきめ細かい指導**も行っており、私立大学ならではの充実した就職活動支援体制が整っています。

Q 海外留学制度などの国際交流の機会はありますか？

A 福岡大学は、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど24カ国94大学1機関(2026年5月1日現在)と提携し、積極的に交流を図っています。工学部の学生も提携校への交換留学(1年)または海外研修(約4週間)の制度を利用して、外国に派遣されています。

Q 大学院(工学研究科)について教えてください。

A 工学研究科の博士課程前期(修士課程)は、「**機械工学専攻、電気工学専攻、電子情報工学専攻、化学システム工学専攻、建設工学専攻、資源循環・環境工学専攻**」で構成され、工学先端技術を研究開発する場で活躍できる人材の育成を目指します。また、博士課程後期は、「**エネルギー・環境システム工学専攻、情報・制御システム工学専攻**」を設置し、技術的な諸問題に対して新たな解決法を提案できる広い視野を有し、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

